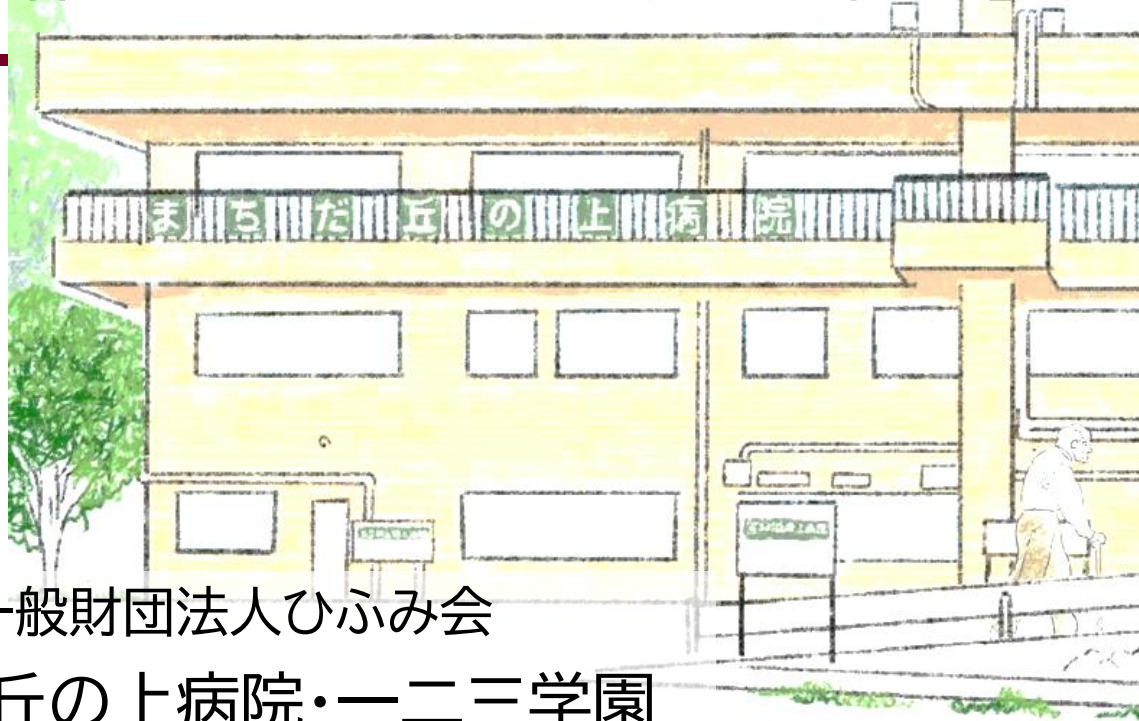


# ヨリドコ小野路宿が目指すこれからの「地域共生社会」

2026年3月12日



一般財団法人ひふみ会

まちだ丘の上病院・一二三学園





# まちだ丘の上病院の提供する事業



「らしく、生きる」を支える  
小さなかかりつけ病院

## まちだ丘の上病院

### 慢性期・回復期医療＋外来

- ・外来・健康診断
- ・入院（医療療養 78床）
- ・リハビリ



重度および医療的なケアが  
必要な方に向けた障がい者施設

## 一二三(ひふみ)学園

### 重症心身障害者・医療的ケア

- ・障害(児)者 入所
- ・障害(児)者 短期入所/一時預かり事業
- ・障害(児)者 相談支援



医療が溶け込んだ  
コミュニティスペース

## ヨリドコ小野路宿

### 在宅医療・看護・居宅・つながり

- ・訪問診療・訪問看護ST
- ・居宅介護支援事業所
- ・カフェ・コミュニティスペース



ヨリドコ  
小野路宿

あると  
いいなが  
あると  
ころ。



ヨリドコ小野路宿は、2019年に国土交通省「人生100年時代の住まい環境モデル事業」に選ばれています



# 当初感じていた問題意識

## 超高齢化社会

小野路町の高齢化率（35% <2020年>）  
町田市街地よりも早く高齢化の問題が到来

健康意識が希薄（健診受診率低、喫煙率等高い）であるなどの課題や、高齢者の老々介護や高齢者独居などの問題が顕在化しはじめている

## 社会インフラの課題

「小野路問題」ともいわれる地理的な課題に起因する交通インフラの課題により、医療・福祉サービスが行き届かない要因に

また、日常の買い物/つながりの機会が不足するなどの生活難民も

## 失われていく里山の暮らし

大山街道沿いの小野路宿場町のころから継承してきた里山とともにある地域の暮らし

特に、「にほんの里100選」にも選ばれた里山での暮らしが少しずつ失われていく様を目の当たりにしてきた

## ソーシャルフレイル

高齢化や生活様式や価値観の変化などに伴う地域のつながりが失われ、引きこもり、貧困、孤独などの問題を引き起こしてしまう

8050問題などこれらの問題は連鎖し、地域社会および地域での暮らしを維持することを困難なものへ





# ヨリドコ小野路宿は里山の暮らしの中に“ちょっとだけ医療”



ヨリドコ  
小野路宿

案内図

ヨリドコを覗いてみよう

look inside.

キッチン  
スペース

集会所

<Café・Bar>  
つながりのカフェ  
力を活かす日替わり店長  
夜のとまりぎ  
医学生カフェ



訪問看護リハビリ  
ステーション  
ヨリドコ  
まちだまの上病院

<訪問看護ST>  
暮らしの保健室  
総合事業まちDAP  
医療者による見守り

<居宅介護支援事業所>  
ケアマネカフェ  
健康と介護のつなぎ手  
地域の見守り

<菜園>  
ヨリドコ農園  
メンテナンスデー  
ワークショップ  
ヨリドコ動物園

<集会所>  
ワークショップ  
研修・体験型施設  
映画観賞会/ライブ  
私設学童保育

<蔵>  
ギャラリー  
シルク工房  
小野路竹俱樂部

<里山>  
小野路竹俱樂部  
篠笛コンサート  
放置竹林の整備





# 宿場町の暮らしの「らしく、暮らせる」の場所



ヨリドコ小野路宿の集会所前景。ヨリドコで活動する団体などが寄り集まる地域の土間のような場所



ヨリドコ小野路宿の蔵。もともとあった蔵を回収し、現在は工房やギャラリーとして活用されている



ヨリドコのメイン・キッチン「kitchenとまりぎ」。日中は地域の団らんがうまれる憩いのカフェ。金曜の夜だけ居酒屋「夜のとまりぎ」に変身



ヨリドコ小野路宿の夜景。施設全体をライトアップすると、小野路の風景に溶け込み幻想的な姿を見せてくれる



# 3つの標-VISION-を通じて地域のWell-being（けんこう）を実現したい

命 -MISSION-

Well-beingな状態

||

「けんこう」と定義

あるといいなが  
あるところ。



標 -VISION-

1

人と『つながる場』

困った時に相談できる人がいる、やりたいことを応援してくれる人がいるところ

2

力を『生かす仕組み』

自分のやりたいことができる、誰もが役割を持つことができるところ

3

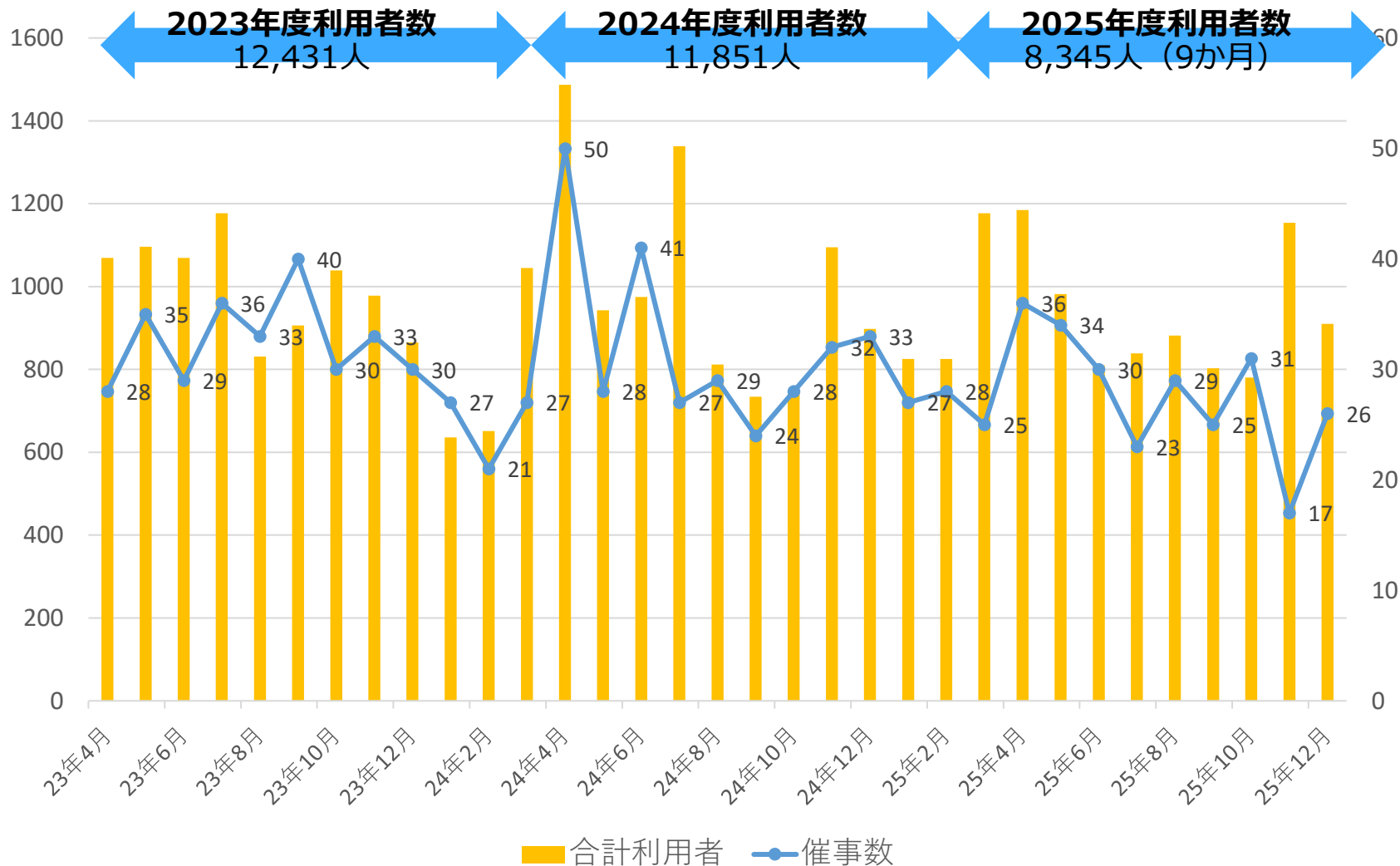
学びを『育む環境』

誰もが学びたい時に学ぶことができる、そこに、教わることができる人がいるところ





# 「ヨリドコ」から生まれる年間12,000人のものがたり



(補足)2023年度以降のヨリドコ利用者数実績(手集計をしたものをもとにしているため正確性などは十分でない点があります)





# ひふみ会が提供する「いりょう」の形

生きがい・つながり

医療

医療ニーズが低い世代に対しては  
予防や健診的関わりに加え  
つながりを育み、力を生かし  
生きがいにつながることで  
けんこう (well-being)に



生きがい  
つながり

医療・介護

医療介護ニーズの高い高齢者へは  
質の高いサービスを提供しながら  
医療介護ではカバーしきれない  
けんこう (Well-being)へ  
アプローチも



医療機関として医療/介護面でのサポートはもちろん  
「生きがい」や「つながり」や「学び」といった  
人生の豊かさや幸せを育む部分にもアプローチ



ひふみ会の「いりょう」の形

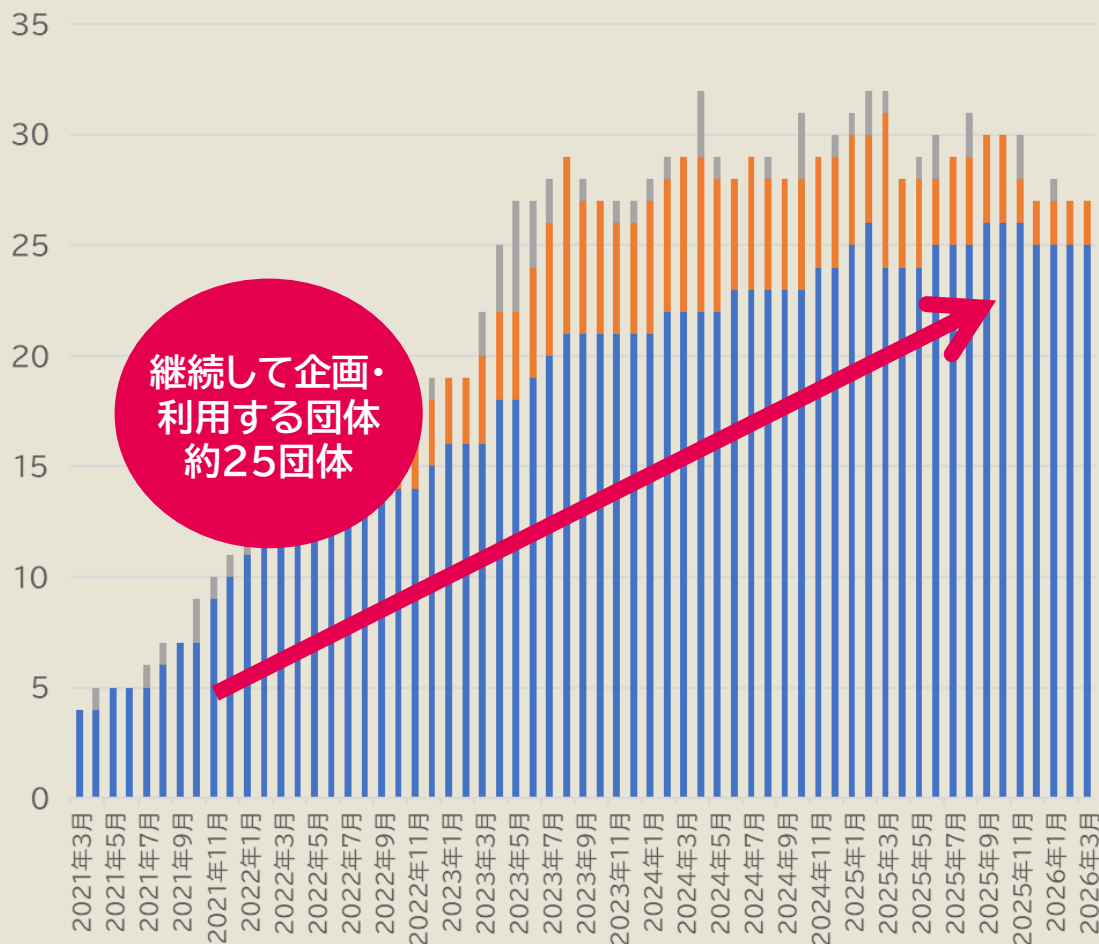
「いりょう」とは

一般的な「医療」の概念よりも、広く人々の健康的な暮らしを支えるために  
提供される「医療的な行為」として定義されるひふみ会のつくった造語





# ヨリドコ小野路宿を一緒に共創する“ヨリドコ住民”



- 新規利用団体(新規飲み)
- 非継続利用団体(年1~2回程度継続的に利用する)
- 継続利用団体(毎月程度継続的に利用する)

累計  
34団体

1

## 人と『つながる場』

困った時に相談できる人がいる、やりたいことを応援してくれる人がいるところ

累計  
49団体

2

## 力を『生かす仕組み』

自分のやりたいことができる、誰もが役割を持つことができるところ

累計  
34団体

3

## 学びを『育む環境』

誰もが学びたい時に学ぶことができる、そこに、教わることができる人がいるところ





# 関係が「いりょう」の交換を実現し、結果「医療」が溶け込む

## 標 -VISION-

1

### 人と『つながる場』

困った時に相談できる人がいる、やりたいことを応援してくれる人がいるところ

2

### 力を『生かす仕組み』

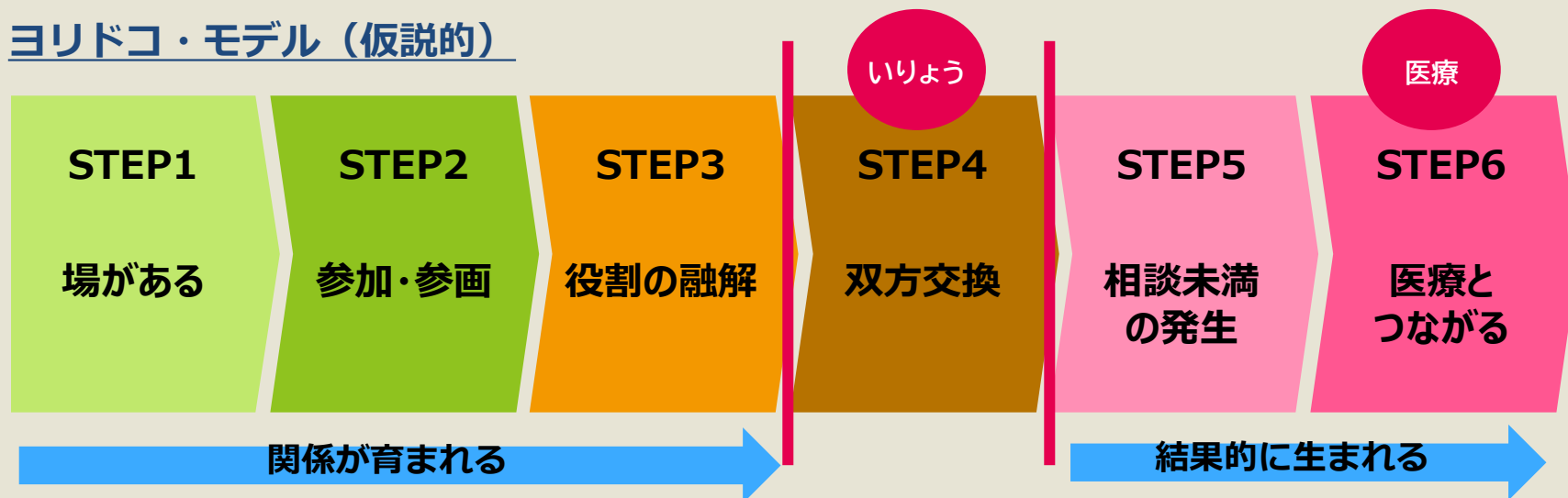
自分のやりたいことができる、誰もが役割を持つことができるところ

3

### 学びを『育む環境』

誰もが学びたい時に学ぶことができる、そこに、教わることができる人がいるところ

## ヨリドコ・モデル（仮説的）





# 大切にしたいのは一人ひとりの「ものがたり」



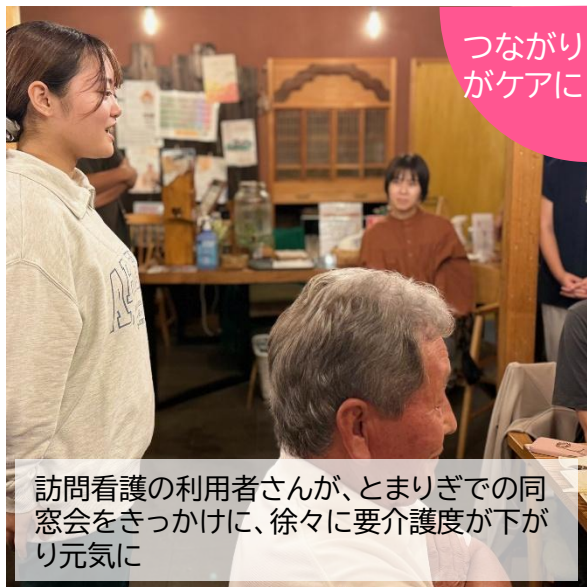
訪問診療利用者が、在宅サービス利用後1年間での快気のきっかけとして、ヨリドコのカフェで喫茶



訪問看護でお看取りをされた方のご家族がヨリドコで個展を開催。つながりが、グリーンケアの機会にも



コロナ禍で演奏機会を奪われた音楽家がヨリドコの竹林で篠笛コンサート。今では8回開催し地域のつながる機会に



訪問看護の利用者さんが、とまりぎでの同窓会をきっかけに、徐々に要介護度が下ががり元気に



町内会のWSをファシリテートする機会などを経て、町内会が活性化し若返り、一緒にヨリドコや地域を盛り上げていく活動に



地元お年寄りの健康体操がきっかけとなり、引きこもりがちだった方が、デイサービスを利用するきっかけに





# 暮らしの障害を乗り越えるきっかけづくりー社会的処方の実践ー



「かかりつけ医等が患者の社会生活面の課題にも目を向け、地域社会における様々な支援へとつなげる取組」

出典:内閣府「経済財政運営と改革の基本方針 2020～危機の克服、そして新しい未来へ～」より抜粋







# お礼 一丘の上から見える「らしく、生きる」景色一



本日は貴重なお時間ありがとうございます。今後ともご指導・ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

住所 : 東京都町田市小野路町11-1

連絡先: 042-735-3731

E-Mail: [hope@machida-hospital.com](mailto:hope@machida-hospital.com) (藤井宛アドレス)

地域包括ケア研究所HP



まちだ丘の上病院HP



ヨリドコ小野路宿

